

高純度軟化水のアトピー性皮膚炎改善効果

## 2. アトピー性皮膚炎患者に対する皮膚保湿効果の検証

高井政貴<sup>1)</sup>、田中あかね<sup>2)</sup>、吉成佑治<sup>1)</sup>、松田浩珍<sup>2)</sup>

(三浦工業<sup>1)</sup>、東京農工大学<sup>2)</sup>)

【目的】皮膚バリア機能の障害は、アトピー性皮膚炎（AD）症状を悪化させる可能性が報告されていることから、皮膚バリア機能の改善をもたらすスキンケアがADの治療効果を高める上できわめて重要である。皮膚の洗浄には一般的に石鹼が使用されるが、水道水中の2価金属イオンと石鹼が反応し形成される金属石鹼は、洗浄後も皮膚に吸着残留するため、皮膚炎悪化の一因となる可能性がある。本研究では、水道水中の2価金属イオンを取り除いた高純度軟化水（UPSW）を用いて、AD患者の乾燥肌に対するUPSWによる入浴の効果を調べた。【方法】皮膚科医によってAD症状が軽症と診断された日本人成人女性18名を対象に、UPSWで4週間入浴を持続し、この間前腕および下腿の乾燥、掻痒、鱗屑症状に関する臨床所見と角層水分量、経表皮水分蒸散量（TEWL）の測定を行った。【結果】UPSWで入浴したAD患者の皮膚では、角層水分量が増加し、TEWLが減少した。臨床所見では、乾燥、掻痒、鱗屑症状について有意な改善が認められた。また、本研究において有害事象は1例も認められなかった。【結論】UPSWによる皮膚の洗浄は、保湿性を向上させ、乾燥や痒みなどの臨床症状に改善が認められたことから、AD患者のスキンケアに有用であると考えられた。